

夢とロマンを乗せていざ秩父路へ 「銀河鉄道999in秩父」

平成22年8月31日、鉄道イベント「銀河鉄道999in秩父」が開催されました。イベントが開かれた西武鉄道西武秩父駅と秩父鉄道三峰口駅をはじめ、秩父鉄道沿線は多くの人で賑わいました。この日は、秩父鉄道のSL（C58・363）が特製ヘッドマーク「999」を取り付けて「銀河鉄道999号」として運行され、西武鉄道で運行されている999ラッピング電車も西武秩父駅へ乗り入れました。



この珍しい車両をカメラに収めようと、西武秩父駅付近の沿線では、2つの車両が線路を挟んで並ぶタイミングを見計らって撮影しようとする鉄道ファンの方も多かったのが印象的でした。また、西武秩父駅のホームでは、留め置かれた999ラッピング電車と一緒に親子で記念写真を撮る姿も見られました。



「銀河鉄道999号」の終点、秩父鉄道三峰口駅に隣接する車両公園の貨車を特設舞台に、「銀河鉄道999」の作者である松本零士さんによるトークショーが開かれました。会場は、松本零士さんとともにSLに乗車した乗客など大勢の方で賑わっていました。松本零士さんは、北九州・小倉からSLに乗って上京したことなど、昔からSLが身近な存在だったご自身の体験談を披露されました。また、停車中のSLの運転台に松本零士さんが記念に乗られるシーンもあり、ある意味「夢のツーショット」となったようです。

その他にも、後ろ向きで運転する運転手と、それを誘導する駅務員の息のあったやりとりで、SLを転車台に向かって背走させる珍しい場面もあるなど、いたるところで訪れたギャラリーの視線を集めていました。



西武秩父駅構内のふるさと広場では、秩父農工科学高校吹奏楽部の生徒さんたちがアニメ「銀河鉄道999」のテーマソングを演奏する華やかだ中に、松本零士さんが登場し、三峰口駅に引き続いて行われたトークショーでは、SLやご自身の作品への想いを語られていました。

その後、この舞台を利用して、県内にある服飾関連を学ぶ高校生たちがデザインした「札所巡礼服ファッションショー」なども開催され、アイデア満載で独創的な札所ウェアが紹介され、観客からも喝采をあげていました。

国民的なアニメと秩父を走る鉄道とのコラボレーションによって開催された今回の「銀河鉄道999in秩父」。大人も子どもも楽しめるイベントとして大成功を収めたようです。

[ホームページについて](#) [サイトの使い方](#) [ご意見・ご要望](#) [秩父市へのアクセス](#)